

インフォメーションディスプレイ Vol.34



株式会社大崎
取締役 物流企画部長
諸星 均 様



株式会社大崎
取締役 富士支店長
小川 美明 様

株式会社大崎 富士配送センター 様

富士山の麓に拠点を置く、株式会社大崎富士支店様は、お客様本位の物流サービスに実績を重ね、とりわけ産業用機器の「梱包～運送」において絶大な信頼を獲得されています。この度、さらなるサービス向上をめざし、配送センターに新しい配車システムを導入されました。



所在地：山梨県南都留郡山中湖村

“見える”配車管理システムはサービス品質の向上につながっています。

PN-G655
1台導入

安全・正確・迅速な物流サービスを支えるのは、一連の業務を合理化し、効率的に管理するシステム。この度、大崎様が導入された「配車表示システム」は、運転手の労務管理までを含めた“車両管理”という業務の改善に効果を上げています。

「これまでは、お客様からご依頼をいただくと、まず紙の配車予定表に記入し、それをホワイトボードに転記するというので、手間も時間もかかっていたのですが、新しいシステムの導入により格段にスピードアップしました。」

配車担当者がPCに配車予定を入力すると、そのまま別室の配車指示表が更新される「配車表示システム」により、受注から配車指示までをほぼリアルタイムに行えるようになりました。

「15秒ごとに画面を切り替え、60台全車両の配車予定を表示していきます。運転手は数日先のスケジュールまで一度に確認できますし、管理側にとっても、人の動きが把握しやすくなり、労務管理の面でも効果が現れています。」新しいシステムが稼働し、仕事がしやすくなれば、モチベーションも上がります。その意識の変化は、他ならぬ“サービス品質”に直結しています。



ドライバーの控え室に設置された配車指示表は15秒ごとに更新される。65インチ一画面に15車両の週間予定を表示可能。



導入時の評価ポイント

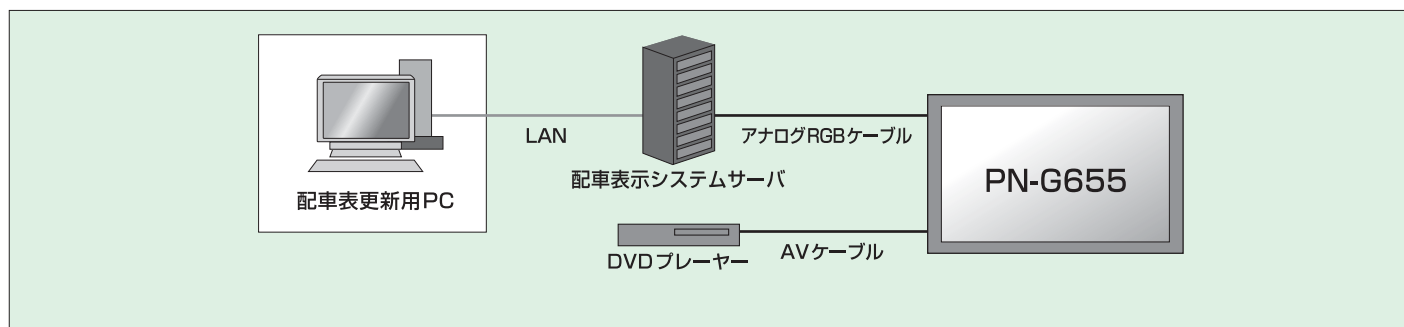
❑ 迫力ある情報表示を実現する
65V型大画面液晶

❑ きめ細かな情報表示を可能にする
フルスペックハイビジョン

❑ 明るい場所でもくっきり見られる
ASV低反射ブラックTFT液晶

❑ 長時間の使用に耐えられる
24時間稼働対応

■ システム概略図



導入の経緯

システムの有効性を高めるためにも
高画質が必要でした。

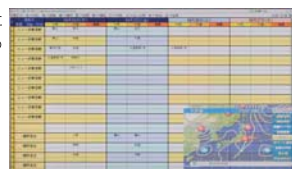
「配車表示システムをつくるきっかけになったのは、ISO9001の認証取得です。改めて業務を見直しマニュアル化する中で、配車を手書きというのは不便ではないかと気づきました。そこで、グループ会社の(株)大崎コンピュータエンジニアリングにも参画してもらい、情報システムづくりに着手しました。」

システムを効率よく機能させるために不可欠なのが大画面ディスプレイ。ホワイトボード

に匹敵する大きさで、一覧表の細かな文字まで見やすく表示できる高精細ディスプレイが必要でした。また、運送業務のシフトに合わせ、早朝から深夜まで長時間使用が可能なことも必須条件。サイズ、画質、信頼性、すべての条件をクリアしたのが『PN-G655』でした。



専用のパソコンから入力された情報が、ドライバーの控え室にあるPN-G655に表示される。



導入後の感想

映像を効果的に使った
安全教育にも役立っています。

月に一度、ドライバーが集まる「安全会議」は、安全運行のイロハを再確認する場。ここでもインフォメーションディスプレイが活躍しています。

「言葉だけでは理解しづらいことも、ビデオなどの映像資料で補えばぐっとわかりやすくなります。教育・啓蒙の面でもどんどん活用していきたいですね。」

その他に、休憩や待機時間に道路情報や天気予報を確認するなど、活用シーンは広がっています。

「安全教育や福利厚生観点から、ドライバーの意識を改革していくことは、お客様に荷物だけでなく安心をお届けし、信頼を

得るための第一歩。最近では、お客様から“ドライバーのレベルが上がった”と、うれしい評価をいただいています。」



教育・研修用ビデオを流すほか、ピクチャー・イン・ピクチャー機能や2分割表示など、AV画像とPC画像を効果的に活用している。

今後の展開予定

全社をあげてサービス品質NO.1へ。
そのためにもさらなるシステムの導入は必要不可欠。

さて、富士配送センターで着実に成果を上げている「配車表示システム」ですが、他の拠点へ導入する計画はあるのでしょうか。

「全拠点でISO9001取得に取り組んでいますので、まずは配車業務の全社的な平準化を図っていききたいですね。しかし、支店・営業所

によってお客様も品物も行き先もまちまちですから、全社で配車を集中管理するのは難しいところ。富士支店のように、保有車両が多く配送ネットワークが広い拠点から、拠点単位でシステムを導入していきます。」

今回のモデルケースで得られたノウハウを

活かし、また要望を受けて、ソフトウェアを改良していくことも検討されています。そうした工夫の積み重ねによって、ロジスティクスはさらにブラッシュアップされていきます。

● お問い合わせは

シャープ株式会社

情報通信事業本部 ビジネスソリューション事業部
電話：(03)3260-8217 / (0743)55-6373

2008年6月発行